

かけはし

赤の1組
～ダイナミックワールド号～



▶ Central Idea
季節の移り変わりは、人々の生活に影響する

「秋のダイナミックワールド」において、赤の1組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。

赤組親子園外探究活動で訪れた金川の森での体験や、山梨学院キャンパスでの木の実や落ち葉拾いなどを
するたびに、「秋見つけた!」「秋ってきれいだね」と、色とりどりの“秋”を見つけてきた子どもたち。
集めた自然物(木の実や落ち葉)を使って遊び始めました。1学期から楽しんできた遊びにも、“秋”の素
材が加わり、一層盛り上がっています。

★病院ごっこ・ドングリのお薬屋さん★

1学期からしていた病院ごっこから広がった遊び



1学期、現場研修生が、「みんなで仲良く遊んでね」と、ダンボールで白いお家をつくってくれました。「このお家、なんか病院みたいだね」という声が聞かれ…。病院ごっこがスタート。



保育者が担架をつくると、それにお人形を乗せて運んだり、「お大事にしてください」などと声をかけたりして遊ぶ子どもたち。



ドングリを葉に見立てて遊んでいた子どもたち。保育者が、割れたドングリの実をすりつぶして見せると「本当にお薬みたい!」と大興奮。みんなでドングリをすりつぶし、お薬づくりに夢中です。

★キャンプごっこ★

友達のキャンプ体験を聞いたことがきっかけで始まった遊び。



2学期の始め、数名の子が「キャンプへ行ってきたよ」「僕は焚火したんだ」と話していました。すると、「これ焚火みたいでしょ」と木の積み木を重ね、キャンプごっこがスタート。



その後、「バーベキューもしたい!」「モロコシを焼くんだよ!」「お肉も焼くよ」「ピザもいいね」などと、イメージはどんどん広がり、食べるものをみんなでつくることに…。



保育者が大きなビニールでテントを張ると「気持ちがいいね」と寝転んだり、手づくりのバーベキューコンロを用意すると、モロコシやお肉を焼いたりして、遊びが盛り上がっています。

★魚釣り★

キャンプごっこで遊んでいた子どもたちから始まった遊び。



数名の子が「キャンプのときに魚釣りしたんだよ!」と、広告を丸めた棒にスズランテープを付けて釣り竿のようにして遊びだしました。



「やっぱりお魚がほしい!」「川もあったらいいよね」「川で魚つりをしよう」と、いろいろなアイデアが出てきて、魚や川づくりが始まりました。



つくった魚にクリップをつけ、釣り竿の先には磁石をつけて、魚釣りの出来上がり。釣り上げた魚は、キャンプ場の焚火で焼いて食べることもできるそうです。

★焼き芋ごっこ★

アルテア子どもファームで、サツマイモの収穫体験をしたことからはじまった遊び。



ファームで大きなサツマイモをたくさん収穫した子どもたち。「焼き芋してみたい!」との意見が。



「みんなで焼き芋ごっこをしよう!」と、新聞紙をサツマイモの形にして画用紙を貼って、サツマイモづくりが始まりました。



保育者がサツマイモを焚火の中から見つけられるようにすると、「誰のサツマイモが大きいかな?」と見せ合ったり、「熱い熱い!」と食べる真似をしたりしています。

★キッチンカーのドングリピザ屋さん★

キャンプごっこから広がった遊び。



「キャンプでピザも食べたい」という意見も出て、ピザもつくることに。キャンパスで集めたドングリをトッピングにして、たくさんのピザをつくりました。



ある子の「キャンプしたとき、車のお店(キッチンカー)でピザを買ったんだよ」との発言をきっかけに、キッチンカーのピザ屋さんへと発展していきました。



最近では、店員さんやお客さんになって、「いらっしゃいませ」「何味にしますか?」「チーズたっぷりのピザください」と、言葉のやり取りも楽しそうにしています。